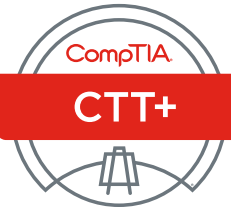


# CTT+

インストラクターが持つべき  
スキルと知識を評価する認定資格

## CompTIA CTT+ Certification Identifies Dedicated Industry Instructors



CompTIA CTT 認定資格を取得することで  
インストラクターとして必要とされる  
スキルと知識を有していることを証明します

### キャリアの向上

CompTIA CTT+ 認定資格により、企業内のインストラクターや、座学トレーニング、バーチャルトレーニングでのインストラクターとして必要となるスキルを有していることを証明します。

### 雇用機会の拡大

複数のテクノロジー分野において、2020年までに20%を超える雇用拡大が見込まれています。IT業界でのキャリアを実現するための第一歩は、CTT+ 認定資格の取得から始まります。<sup>1</sup>

### グローバルな認知

CompTIA CTT+ 認定資格の取得は、国際的に認知されたベンダーニュートラルな資格保有者としての信用につながります。CTT+ の取得により、インストラクションのコアスキルとなる、トレーニングの準備や運用、プレゼンテーション、コミュニケーション、ファシリテーション、トレーニング内容の評価といったスキルを有していることを証明します。

### 仕事に対する満足度

CompTIA 認定資格を保有するITプロフェッショナルの76%が、自分の仕事に満足していると回答しています。<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 出典：CompTIA 9th Annual Information Security Trends study  
<sup>2</sup> 出典：CompTIA 2nd Annual IT Career Insights Study

- **CompTIA CTT+ はインストラクションスキルの証明として広く活用されています。**

他ベンダーのインストラクター認定を取得する際に、インストラクションスキルを評価するための前提条件として活用されています。

- **CompTIA CTT+ の取得により、自信を持ってインストラクションを実施できます。**

CompTIA CTT+ では、トレーニングの準備、プレゼンテーション、ファシリテーション、トレーニング内容の評価といったインストラクションに必要な一連のスキルを評価します。そのため取得後は、効果的なインストラクションを自信を持って実施することを可能にします。

- **CompTIA CTT+ の取得により、一連の教授法を理解することができます。**

ある調査機関の調査では、回答者の87%が、最も有効なトレーニング形態として座学トレーニング(ILT: Instructor led training)を挙げています。また、回答された企業の74%は、モバイル、ビデオ、ソーシャルメディアなどを活用して、座学トレーニングの補完教材とするといったブレンド型学習の手法を取っています。CompTIA CTT+ では、座学でのトレーニングと共に、仮想環境でのトレーニングのインストラクションスキルを評価できるよう設計されています。



“ 業界の業界による  
業界のための資格 ”

CompTIA 認定資格は、試験作成委員会を中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME(サブジェクトマターエキスパート)と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

### CompTIA CTT+ SME

- 海外 / 一部抜粋
  - Apple
  - Microsoft
  - NETg
  - New Horizons
  - Novell
  - Intel
- 日本 (50音順 / 敬称略)
  - アイ・シー・シー
  - シマンテック
  - ビーフォーシー



様々なグローバル企業では、自社の社員の育成に CTT+ を必須 / 推奨資格として活用されています。

- Adobe
- Dell
- Microsoft
- Novell
- リコー

CompTIA CTT+ 認定資格試験は、クラスルームまたはバーチャルクラスルームといった環境において、インストラクターが持つべきである知識とスキルを評価するために設計されています。

CompTIA CTT+ Essentials 認定資格試験 (試験番号:TK0-201) を合格後、下記いずれかのパフォーマンスベース試験を合格することで CompTIA CTT+ 取得となります。

- CompTIA CTT+ Essentials 試験は、インストラクションのコアスキルとなる、トレーニングの準備や運用、プレゼンテーション、コミュニケーション、ファシリテーション、受講者の評価といったスキルを有していることを証明します。
- CompTIA CTT+ パフォーマンスベース試験 Classroom Trainer (試験番号: TK0-202)、Virtual Classroom Trainer (試験番号: TK0-203) のいずれかに合格することで CompTIA CTT+ 取得となります。パフォーマンスベース試験は、実際にインストラクションしているビデオを採点委員会に送付の上、合否が判定されます。



## 主な出題範囲

CompTIA CTT+ (試験番号: TK0-201)	
第1章 コース事前準備	13%
第2章 教授法と教育媒体	14%
第3章 インストラクターの信頼性とコミュニケーション	10%
第4章 グループの円滑化	45%
第5章 トレーニングの評価	18%

## 試験実施概要

試験番号	問題数	制限時間	合格ライン
TK0-201	95 問	90 分	100 ~ 900 のスコア形式 655 以上
TK0-202	17 分~ 22 分で記録された インストラクションスキル実演の 録画を提出		規定された 12 のスキル基準を評価 48 スコア中 36 スコア以上で合格 (全てのスキル基準が「1」以上の場合)
TK0-203			

認定資格の詳細情報は、下記 Web サイトをご覧ください：

[https://www.comptia.jp/certif/comptia\\_certificaiton/](https://www.comptia.jp/certif/comptia_certificaiton/)